



## 2025年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2025年2月7日

上場会社名 株式会社中村超硬 上場取引所 東  
コード番号 6166 URL <https://www.nakamura-gp.co.jp/>  
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 井上 誠  
問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 田植 啓之 (TEL) 072-274-0007  
配当支払開始予定日 —  
決算補足説明資料作成の有無 : 有  
決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2025年3月期第3四半期の連結業績(2024年4月1日~2024年12月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期第3四半期	2,116	15.2	1	—	△9	—	△13	—
2024年3月期第3四半期	1,837	△29.7	△340	—	△362	—	△442	—

(注) 包括利益 2025年3月期第3四半期 △10百万円(—%) 2024年3月期第3四半期 △441百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年3月期第3四半期	△1.23	—
2024年3月期第3四半期	△40.13	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年3月期第3四半期	5,518	841	15.1
2024年3月期	6,003	854	14.0

(参考) 自己資本 2025年3月期第3四半期 831百万円 2024年3月期 842百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2025年3月期	—	0.00	—		
2025年3月期(予想)				0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2025年3月期の連結業績予想(2024年4月1日~2025年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	3,300	36.8	110	—	80	—	20	△86.1	1.81

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無  
新規 ー社(社名)ー 、除外 ー社(社名)ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2025年3月期3Q	11,020,900株	2024年3月期	11,020,900株
2025年3月期3Q	1株	2024年3月期	1株
2025年3月期3Q	11,020,899株	2024年3月期3Q	11,020,899株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 経営成績等の概況(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期連結累計期間の経営成績の概況	2
(2) 当四半期連結累計期間の財政状態の概況	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報)	8
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	9

## 1. 経営成績等の概況

### (1) 当四半期連結累計期間の経営成績の概況

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、社会経済活動の正常化が進んだことに加え、所得環境の改善やインバウンド需要の回復により緩やかな回復基調となったものの、物価の高止まりは続いており、製造業にとっては厳しい経済環境となりました。世界経済においては、米国における政権交代による景気の回復期待がある一方で、中国経済回復の遅れや米国の関税政策など、依然として先行きが不透明な要因が存在しているとともに、原材料・エネルギーコストの高止まりも継続しており、わが国経済を取り巻く世界情勢は予断を許さない状況が続いております。

このような状況下、当社グループは、化学繊維用紡糸ノズル事業において炭素繊維用ノズルの販売が好調を維持したものの、特殊精密機器事業においては中間期に引き続いて工作機械業界や電子部品業界が低調に推移したことにより、耐摩耗工具関連分野及び実装機用ノズルの販売が低調に推移いたしました。またD-N e x t 事業においては、半導体需要の低迷により、半導体・難削材向けダイヤモンドワイヤの販売は堅調に推移したものの、販売数量の拡大は足踏み状態となりました。

これらの結果、第3四半期連結累計期間における売上高は2,116百万円（前年同期比15.2%増）、営業利益は1百万円（前年同期は340百万円の営業損失）、経常損失は9百万円（前年同期は362百万円の経常損失）、親会社株主に帰属する四半期純損失は13百万円（前年同期は442百万円の親会社株主に帰属する四半期純損失）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

#### ① 特殊精密機器事業

特殊精密機器事業については、商社を活用した自動車部品メーカーからの受注獲得や、同業他社の廃業や事業撤退を背景とした部品需要の取り込みなどによる新規顧客開拓、既存顧客からの新規アイテム受注といった販売拡大施策は着実に進展しており、代表的な新規アイテムである新素材で製作した実装機用ノズルの出荷が開始されました。しかしながら、主力顧客である工作機械業界や電子部品業界が低調であった影響を受け、耐摩耗工具関連分野及び実装機用ノズルの売上が落ち込み、厳しい事業環境が継続いたしました。

これらの結果、売上高は535百万円（前年同期比5.8%減）、セグメント利益は12百万円（前年同期比53.5%増）となりました。

#### ② 化学繊維用紡糸ノズル事業

化学繊維用紡糸ノズル事業については、不織布関連ノズルの需要が上期に引き続き低調に推移したものの、風力発電用ブレード向けを中心とした炭素繊維用ノズルの旺盛な需要が継続しており、売上は好調に推移いたしました。

これらの結果、売上高は1,393百万円（前年同期比17.7%増）、セグメント利益は134百万円（前年同期は40百万円のセグメント損失）となりました。

#### ③ D-N e x t 事業

D-N e x t 事業については、当社製のパワー半導体・難削材向けダイヤモンドワイヤは複数の企業に正式採用されており販売は順調に伸長してきましたが、当第3四半期においては車載用を中心とした半導体需要低迷の影響を受け、ウエハメーカーの稼働率が低下したため、パワー半導体・難削材向けダイヤモンドワイヤの販売が頭打ちとなりました。なお、ダイヤモンドワイヤ製造装置販売については、インドにおける太陽電池の自国内生産化の進捗の遅れに変化はなく、当第3四半期における商談の進捗はございませんでした。

これらの結果、売上高は179百万円（前年同期比122.8%増）、セグメント損失は87百万円（前年同期は197百万円のセグメント損失）となりました。

#### ④ マテリアルサイエンス事業

新規事業として取り組んでいるナノサイズゼオライトについては、顧客やエンドユーザーにおける量産採用に向けた評価が継続しており、2025年度において量産開始の見込みであることに変化はありません。また、引き合いが増加している触媒用途をはじめとする新規用途分野や新規顧客の開拓を目指したサンプル提供を継続しているとともに、展示会出展をはじめとしたナノサイズゼオライトの認知度向上に取り組んでおります。

これらの結果、売上高は8百万円（前年同期比97.0%増）、セグメント損失は75百万円（前年同期は119百万円のセグメント損失）となりました。

(2) 当四半期連結累計期間の財政状態の概況

① 資産

その他流動資産のうち未収消費税が222百万円減少、機械装置及び運搬具が94百万円減少、商品及び製品が94百万円減少したこと等により、総資産は前連結会計年度末に比べ485百万円減少し5,518百万円となりました。

② 負債

長期借入金が174百万円減少、電子記録債務が129百万円減少したこと等により、負債は前連結会計年度末に比べ471百万円減少し4,676百万円となりました。

③ 純資産

利益剰余金が13百万円減少したこと等により、純資産は前連結会計年度末に比べ13百万円減少し841百万円となりました。

この結果、自己資本比率は15.1%（前連結会計年度末は14.0%）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年5月13日付決算短信において、当期の連結業績予想数値を公表しておりますが、その際に記載した予想数値策定における前提条件から大幅な変更が見られないため、従前の予想数値を据え置くことといたします。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,495,324	1,453,000
受取手形及び売掛金	306,679	325,797
電子記録債権	68,962	41,819
商品及び製品	134,610	40,261
仕掛品	475,322	511,298
原材料及び貯蔵品	132,270	141,554
その他	301,373	54,147
流動資産合計	2,914,543	2,567,879
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	994,315	959,726
機械装置及び運搬具(純額)	1,382,428	1,287,663
土地	614,882	614,882
その他(純額)	53,830	48,296
有形固定資産合計	3,045,457	2,910,568
無形固定資産	13,506	9,882
投資その他の資産		
投資その他の資産	64,003	63,788
貸倒引当金	△33,923	△33,923
投資その他の資産合計	30,080	29,864
固定資産合計	3,089,043	2,950,316
資産合計	6,003,587	5,518,196

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	68,946	67,475
電子記録債務	194,831	65,663
前受金	186,666	186,666
契約負債	341,142	294,822
短期借入金	2,040,000	2,040,000
1年内返済予定の長期借入金	233,317	233,317
リース債務	24,082	22,427
未払法人税等	10,344	15,572
賞与引当金	68,579	-
受注損失引当金	25,781	23,081
その他	146,279	139,983
流動負債合計	3,339,972	3,089,010
固定負債		
長期借入金	791,689	616,701
リース債務	91,826	75,438
退職給付に係る負債	240,147	230,738
資産除去債務	50,069	50,602
その他	634,977	614,239
固定負債合計	1,808,710	1,587,720
負債合計	5,148,682	4,676,731
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	349,042	349,042
資本剰余金	299,042	299,042
利益剰余金	215,362	201,852
自己株式	△0	△0
株主資本合計	863,447	849,937
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△590	△647
繰延ヘッジ損益	△1,591	△531
為替換算調整勘定	△18,910	△17,130
その他の包括利益累計額合計	△21,093	△18,309
新株予約権	12,550	9,836
非支配株主持分	-	-
純資産合計	854,904	841,464
負債純資産合計	6,003,587	5,518,196

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)
売上高	1,837,189	2,116,675
売上原価	1,481,378	1,587,031
売上総利益	355,810	529,644
販売費及び一般管理費	696,130	528,533
営業利益又は営業損失(△)	△340,320	1,110
営業外収益		
受取利息	76	149
受取配当金	43	48
助成金収入	2,164	21
為替差益	6,498	1,353
補助金収入	-	12,920
その他	2,283	7,325
営業外収益合計	11,065	21,816
営業外費用		
支払利息	30,162	29,843
その他	2,706	2,625
営業外費用合計	32,869	32,468
経常損失(△)	△362,124	△9,540
特別利益		
固定資産売却益	399	-
新株予約権戻入益	932	2,713
特別利益合計	1,332	2,713
特別損失		
固定資産除却損	-	0
減損損失	28,668	8,313
訴訟関連費用	55,804	122
特別損失合計	84,473	8,436
税金等調整前四半期純損失(△)	△445,264	△15,264
法人税、住民税及び事業税	793	12,907
法人税等調整額	△3,812	△14,661
法人税等合計	△3,019	△1,754
四半期純損失(△)	△442,245	△13,510
非支配株主に帰属する四半期純利益	-	-
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△442,245	△13,510



四半期連結包括利益計算書  
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)
四半期純損失(△)	△442,245	△13,510
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△46	△56
繰延ヘッジ損益	3,651	1,060
為替換算調整勘定	△3,064	1,779
その他の包括利益合計	540	2,783
四半期包括利益	△441,704	△10,726
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△441,704	△10,726
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

前第3四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	特殊精密 機器事業	化学繊維用 紡糸ノズル 事業	D-N e x t 事業	マテリアル サイエンス 事業	計	調整額 (注)1 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額
売上高							
外部顧客への売上高	568,573	1,183,961	80,523	4,131	1,837,189	—	1,837,189
セグメント間の内部 売上高又は振替高	41,042	55	50	—	41,147	△41,147	—
計	609,616	1,184,016	80,573	4,131	1,878,336	△41,147	1,837,189
セグメント利益 又は損失(△)	8,402	△40,866	△197,971	△119,260	△349,695	9,374	△340,320

(注) 1 セグメント利益又は損失の調整額は、セグメント間の取引の消去によるものであり、これは主としてグループ間の売上取引及び業務委託取引の消去によるものであります。

2 調整額の項目に含めた配賦不能営業費用はありません。

## 2. 報告セグメントごとの資産に関する情報

「化学繊維用紡糸ノズル事業」において、新工場の建設及び大型マルチブローンノズル・ダイ製造設備の取得に伴い、固定資産が増加しました。これにより前連結会計年度の末日に比べ、「化学繊維用紡糸ノズル事業」のセグメント資産が、1,710,190千円増加しております。

## 3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する事項

(固定資産に係る重要な減損損失)

(単位:千円)

	特殊精密 機器事業	化学繊維用 紡糸ノズル 事業	D-N e x t 事業	マテリアル サイエンス 事業	計	調整額 (注)1	合計額
減損損失	26,130	—	2,238	—	28,368	300	28,668

(注) 1 調整額の金額は、すべて共用資産に係る金額であります。

当第3四半期連結累計期間(自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	特殊精密 機器事業	化学繊維用 紡糸ノズル 事業	D-N e x t 事業	マテリアル サイエンス 事業	計	調整額 (注)1 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額
売上高							
外部顧客への売上高	535,325	1,393,815	179,394	8,140	2,116,675	—	2,116,675
セグメント間の内部 売上高又は振替高	5,670	—	—	—	5,670	△5,670	—
計	540,995	1,393,815	179,394	8,140	2,122,345	△5,670	2,116,675
セグメント利益 又は損失(△)	12,894	134,910	△87,859	△75,770	△15,824	16,935	1,110

(注) 1 セグメント利益又は損失の調整額は、セグメント間の取引の消去によるものであり、これは主としてグループ間の売上取引及び業務委託取引の消去によるものです。

2 調整額の項目に含めた配賦不能営業費用はありません。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する事項

(固定資産に係る重要な減損損失)

(単位:千円)

	特殊精密 機器事業	化学繊維用 紡糸ノズル 事業	D-N e x t 事業	マテリアル サイエンス 事業	計	調整額 (注)1	合計額
減損損失	—	—	6,164	393	6,558	1,755	8,313

(注) 1 調整額の金額は、すべて共用資産に係る金額であります。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)
減価償却費	131,631千円	166,470千円